

近鉄グループホールディングス（株）に対し、 「DBJ BCM格付」に基づく融資を実施 －近鉄グループとして最高ランクの格付を9年連続取得－

株式会社日本政策投資銀行（以下「DBJ」という。）は、近鉄グループホールディングス株式会社（本社：大阪市天王寺区、代表取締役社長：小倉敏秀、以下「当社」という。）の子会社であり、当社グループの中核事業会社である近畿日本鉄道株式会社（以下「近畿日本鉄道」という。）に対し、「DBJ BCM格付」に基づき評価を実施し、かかる格付に基づき当社に融資を実施しました。

「DBJ BCM 格付」融資は、DBJ が開発した独自の評価システムにより、防災および事業継続への取り組みが優れた企業を評価・選定し、その評価に応じて融資条件を設定するという、「BCM 格付」の専門手法を導入した世界で初めての融資メニューです。

当社は、運輸、不動産、流通、ホテル・レジャーなど多様な事業を擁しており、公益性の高い運輸事業を中心に徹底した安全対策に取り組むとともに、多様な場面を想定した訓練を実施するなど高度な事業継続活動を実践しています。

今回の格付では、以下の点を高く評価しました。

- (1) 各現場にて顧客役を立てた異例時における対応訓練や拠点駅参集訓練を含む初動対応訓練を徹底していることに加え、分かりやすさを企図した発生事象・部門別初動対応マニュアルの集約化や、衛星電話の高頻度での通話試験・不感対策も行う等、初動対応の実効性向上に精励している点
- (2) 路線ブロック別に段階的な復旧ステージを進めることで早期復旧を図る事業継続戦略を遂行するために、各ステージで必要な経営資源を網羅的に洗い出すとともに、計画的な耐震化対策や復旧部材の戦略的確保等、ボトルネックの解消に継続的に努めている点
- (3) 主要部材については二次サプライヤーも含めた形で、部材調達先に対して事業継続体制の把握やリスク情報共有等を行うほか、保守会社との間では有事の際の協力体制を構築し協同した訓練も実施する等、事業継続力向上に向けた社外連携を深化させている点

その結果、近畿日本鉄道は「防災及び事業継続への取り組みが特に優れている」という格付を取得しました。なお、当社グループは「DBJ BCM 格付」の最高ランク 9 年連続取得となりますが、これは関西地域に本社を置く企業としては初めての事例となります。

DBJ は、企業理念「金融力で未来をデザインします～金融フロンティアの弛まぬ開拓を通じて、お客様及び社会の課題を解決し、日本と世界の持続的発展を実現します～」に基づき、有事における事業継続の推進に向けたお客様の取り組みを積極的に支援してまいります。

【お問い合わせ先】

関西支店 企画調査課 電話番号 06-4706-6455